

○中濃消防組合火災予防規則新旧対照表

下線部分改正案

改正後	改正前
<p>(標識等の表示方法)</p> <p>第11条 略</p> <p><u>(公表の対象となる防火対象物及び違反の内容)</u></p> <p><u>第12条 条例第48条第3項に規定する公表の対象となる防火対象物は、令別表第1(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項、(9)項イ、(16)項イ、(16の2)項及び(16の3)項に掲げる防火対象物で、法第17条第1項の政令で定める技術上の基準に従って屋内消火栓設備、スプリンクラー設備又は自動火災報知設備を設置しなければならないもののうち、法第4条第1項に規定する立入検査においてこれらの消防用設備等が設置されていないと認められたものとする。</u></p> <p><u>2 条例第48条第3項に規定する公表の対象となる違反の内容は、前項の防火対象物に屋内消火栓設備、スプリンクラー設備又は自動火災報知設備が設置されていないこととする。</u></p> <p><u>(公表等の手続)</u></p> <p><u>第13条 条例第48条第1項の規定による公表は、前条第1項の立入検査の結果を通知した日から14日を経過した日において、なお、当該立入検査の結果と同一の違反の内容が認められる場合</u></p>	<p>(標識等の表示方法)</p> <p>第11条 略</p>

に、当該違反が是正されていないことを確認できるまでの間、中濃消防組合ホームページへの掲載により行う。

2 前項に規定する方法により公表する事項は、次に掲げるものとする。

(1) 前条第2項に規定する違反が認められた防火対象物の名称及び所在地

(2) 前条第2項に規定する違反の内容（当該違反が認められた防火対象物の部分を含む。）

(3) その他消防長が必要と認める事項